

十字架上の七つのことば
第6回「成し遂げられた」

イエスは、この酢を受けると、「成し遂げられた」と言い、頭を垂れて息を引き取られた。

(ヨハネ 19:30)

1. 背景

主イエスが十字架の上で「渴く」と言われた直後、酔いぶどう酒を受け取られてから発せられたのが「成し遂げられた (Τετέλεσται／テテレスタイ)」ということばです。これは単に主イエスのこの世のいのちが「終わった」という意味ではなく、「完全に完成した」「任務を全うした」というニュアンスを持っています。当時の商取引では、借金を完済したときに「Τετέλεσται」と記される習慣がありました。主イエスのことばは、贖いの支払いが完全に終わったこと、父なる神が主イエスをこの世に遣わし「贖いの代価」とする目的が成就したことを示しています。

2. 意味

このことばには二つの重要な意味があります。

① 救いの計画の完成

旧約から語られてきた神の救いの約束が、主イエスの十字架によって完全に成就しました。もはや付け加えるものではなく、赦しと救いは完成されています。

② 勝利の宣言

「成し遂げられた」は敗北の叫びではなく、勝利の宣言。罪と死に対する完全な勝利がここで告げられました。

3. 適用

私たちはしばしば「自分がもっと正しく／清くなければ救いにふさわしくない」と感じてしまうのではないのでしょうか。しかし、主イエスが「成し遂げられた」と宣言されたことで、救いはすでに完成し、私たちはその恵みの中に生きることができます。また、この人生の中で「成し遂げられないこと」に直面しても、私たちの魂の根底には「キリストが成し遂げてくださった救い」があり、それゆえに如何なる結末をも委ねることができるのです。

4. 祈り

「主イエスよ、あなたが十字架の上で『成し遂げられた』と宣言してくださったことを感謝いたします。あなたが完成された救いには、もはや何も付け加える必要がありません。私たちは自分の力で成し遂げようとするのではなく、あなたの完成された恵みのうちを生きていけばよいのです。人生の半ばで何らかの挫折を覚えることがあったとしても、あなたの勝利を信じて歩むことができますように。」